

マルトリートメントを防ぐために

※マルトリートメントとは子どもの虐待をより広く捉えた言葉です。(P3 参照)

子どもの虐待とは保護者がその子どもに対して行った、①**身体的虐待** ②**性的虐待** ③**ネグレクト** ④**心理的虐待**の4つの行為を言います。(P3 参照) ①と③は歯科と関係が深く、特にデンタルネグレクトの発見は、虐待を早い段階で防いでいくうえで重要です。(P9 参照)

基本的な生活習慣を身につける時期です。健診の機会も多くなり、むし歯や食習慣からネグレクト等に注意が必要です。

3歳～6歳児（保育所・幼稚園健診、診療時）

1. 子どもに関する事項の確認

保育所・幼稚園歯科健診の場合は担任の先生に確認する

区分	確認ポイント	注意するポイント
一般事項	家族構成、出生順位、生活環境	○子どもの養育環境に注意
発育状況	体重・身長が発育状況	○極端な身体発育不良 ネグレクトの可能性
母子健康手帳	妊娠中、出生後の状況	○未婚、離婚、母親の年齢、既往歴、経済状況 ○健診、予防接種等の履歴、出産時の体重
運動発達 精神発達	正常な運動発達、精神発達をしているか	○運動発達の遅れ ○精神発達の遅れ ネグレクトの可能性
生活習慣	う蝕リスクとなる生活習慣の有無	○生活リズム（起床、就寝、食事やおやつ）の時間 ○生活習慣（食事の内容や食べ方、砂糖を含むおやつや飲み物の摂取、卒乳・哺乳瓶の使用、歯磨き・仕上げ磨きの習慣、フッ化物配合歯磨剤の使用状況） ネグレクトの可能性
子育て状況	育児の負担感 育児不安	○子育てに余裕があるか ○子育てを相談する相手がいるか ○子育てを支援してくれる人が周りにいるか 子育て支援の必要性
心配事の有無		○問診票に記載がない場合も歯科医師の立場で尋ねる
保育所・幼稚園での様子		○保育所・幼稚園での日頃の子どもの様子 ○日頃の保護者と子どもの様子 ○子どもが提供されるべきケアを受けているか ネグレクトの可能性

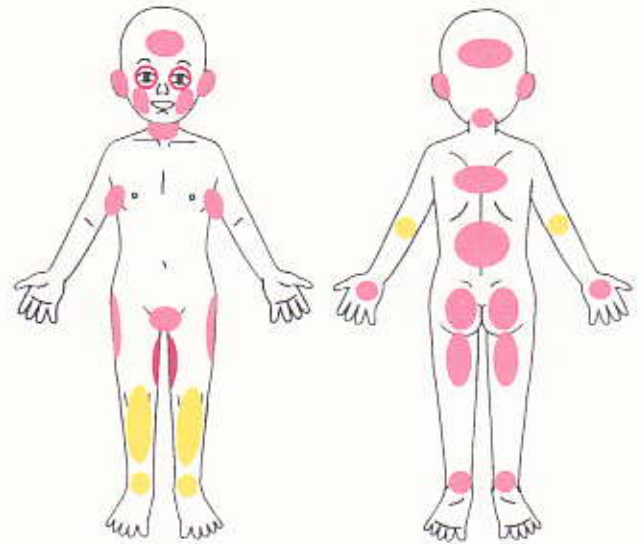
2. 歯科診察の手順と観察

	手 順	観察するポイント
1	入室時の様子	○歩き方、子どもの表情、親子の様子に不自然な点はないか
2	あいさつ 顎顔面・顔貌・口腔機能の視診	○あいさつと同時に、顔面の損傷、骨格や顎骨の偏位、口唇閉鎖、舌の動きや位置を観察する ネグレクトの可能性 ○子ども自身や衣服の清潔度 身体的虐待の可能性 ○手足の外傷の有無
3	頭部の視診	○頭部の外傷性脱毛、傷等の有無 身体的虐待の可能性
4	歯垢付着状況の視診	○多量の歯垢付着 デンタルネグレクトの可能性
5	萌出状況の視診	○乳歯永久歯の萌出の遅れ ネグレクトの可能性
6	う蝕・要観察歯(CO)の視診	○極端にう蝕が多い、重度のう蝕 デンタルネグレクトの可能性 ○要治療歯の放置
7	口腔軟組織の視診	○重度の歯肉炎 デンタルネグレクトの可能性 ○口唇、歯肉、小帯、舌、口腔粘膜、口蓋の損傷 身体的虐待の可能性
8	その他の異常の視診	○口腔機能の発達の遅れはないか ○子ども虐待の兆候がないか

ここまでで「おや、何かおかしいな」という項目があれば 次の診査項目へ進んで下さい

3. 口腔・顎顔面・頭頸部の診査 (P20,21,22 参照)

- 多量の歯垢沈着
- 多数歯にわたるう蝕
- 重度の歯肉炎
- 歯・歯周組織の損傷
 - ・歯の外傷 説明のつかない歯冠破折、歯根破折、変色歯、歯の動揺、歯の脱臼
 - ・口唇、歯肉、舌、口腔粘膜、小帯、口蓋の不自然な傷
- 顎顔面・頭頸部の損傷
 - ・眼 眼の周りのあざや出血点
 - ・耳 耳介部の損傷（不慮の事故による損傷は少ない）聞こえるかどうか
 - ・鼻 鼻骨骨折
 - ・首 点状出血、索状痕（首を絞められた跡）
 - ・頭部 頭皮内の複数の損傷や抜毛痕
 - ・不自然なあざ、皮下出血、変色斑、骨折



- 身体的虐待が疑われる部位
- 日常生活で損傷しやすい部位

4. 全身の診査 (P23 参照)

- あざ
- 打撲傷
- 火傷（たばこ、アイロン、熱湯）
- 骨折

5. 子どもの様子 (P15 参照)

- 身長・体重がある時期から増加していない・横ばい
- 身体や衣服が清潔でない
- 無表情、笑わない、あまりしゃべらない、あいさつができない
- 親の顔色をうかがう、ビクビクしている、おびえがある
- 親になつかない、親と別れても泣かない
- 生活のリズムが不規則
- 食行動の異常（むさぼり食い、過食、拒食）
- 朝ごはんを食べない時がある
- 食事やおやつ時間が決まっていない、おやつに甘いものが多い
- 多動、落ち着きがない
- 歯を磨いていない
- だれにでもベタベタする
- 家に帰りがたらない
- 元気がない
- 乱暴な言動、行動

6. 保護者の様子 (P14 参照)

- 母子健康手帳
 - ・婚姻状態
 - ・妊娠出産時の状況
 - ・手帳の発行状況
 - ・手帳の記載状況
- 保護者の既往歴（酒・薬物依存、心療内科の受診、うつ病等）
- 子どもへの接し方が不自然
- 子どもに対して拒否的
- 育児に対する不安がある
- しつけに厳しい、ひどくしかる
- 子どもにきちんとした食事を与えていない
- 経済的に余裕がない
- 親と子の衣服のアンバランス
- 周囲に子育てを支援してくれる人がいない
- 子どもの事故に対する配慮がない
- 保険証がない
- 医療機関を点々としている
- 子どもを異様に叱る、脅す、たたく
- 待合室でトラブルをおこす
- 病院・スタッフへの不満が多い
- 発症や受傷状況が説明できない
- 説明が二転三転する
- 受診までの時間経過が長い
- 子どもの病状、診断、説明に関心がない
- 再診を望まない
- キャンセルが多い

★気になる点があれば保育所・幼稚園健診では担当者に伝えて下さい

★診療所の場合は市区町村の子育て支援課等に連絡しましょう

マルトリートメントを防ぐために

※マルトリートメントとは子どもの虐待をより広く捉えた言葉です。(P3 参照)

子どもの虐待とは保護者がその子どもに対して行った、①**身体的虐待** ②**性的虐待** ③**ネグレクト** ④**心理的虐待**の4つの行為を言います。(P3 参照) ①と③は歯科と関係が深く、特にデンタルネグレクトの発見は、虐待を早い段階で防いでいくうえで重要です。(P9 参照)

小学生・中学生（学校歯科健診、診療時）

小学生は子ども虐待の件数の最も多い年齢です。
(特に身体的虐待が多い)

1. 子どもに関する事項の確認

学校歯科健診の場合は担任・養護の先生に確認する

区 分	確認ポイント	注意するポイント
一般事項	家族構成、出生順位、生活環境	○子どもの養育環境に注意
発育状況	体重・身長が発育状況	○極端な身体発育不良 ネグレクトの可能性
清潔度	身体や衣服が清潔か	○日頃の子どもの様子はどうか ネグレクトの可能性
運動発達 精神発達	正常な運動発達、精神発達をしているか	○運動発達の遅れ ○精神発達の遅れ ネグレクトの可能性
生活習慣	う蝕リスクとなる生活習慣の有無	○生活リズム（起床、就寝、食事や間食の時間） ○生活習慣（食事の内容や食べ方、間食や飲み物の内容や摂取の状況、歯磨き・仕上げ磨きの習慣、フッ化物配合歯磨剤の使用状況） ネグレクトの可能性
子育て状況	育児の負担感 育児不安	○子育てに余裕があるか ○子育てを相談する相手がいるか ○子育てを支援してくれる人が周りにいるか 子育て支援の必要性
心配事の有無		○問診票に記載がない場合も歯科医師の立場で尋ねる
学校での様子	遅刻、不登校傾向、忘れ物、健康状態	○子どもが提供されるべきケアを受けているか ネグレクトの可能性

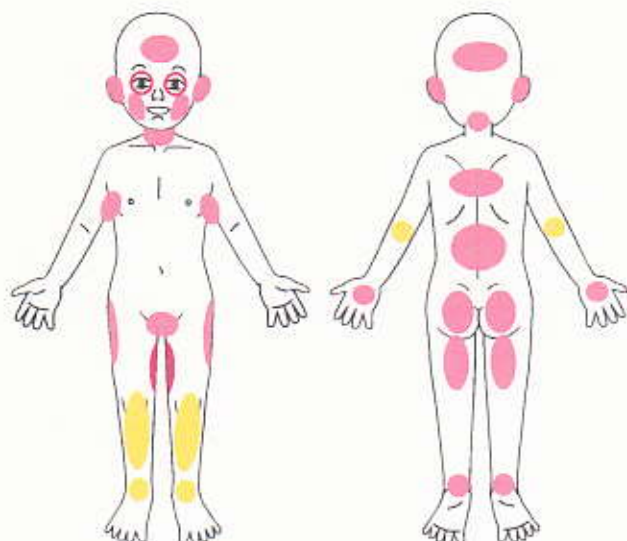
2. 歯科診察の手順と観察

	手 順	観察するポイント
1	入室時の様子	○入室時の歩き方、子どもの表情、待っている時の子どもの様子に不自然な点はないか
2	あいさつ 顎顔面・顔貌・口腔機能の視診	○あいさつと同時に、顔面の損傷、骨格や顎骨の偏位、口唇閉鎖、舌の動きや位置を観察する ○子ども自身や衣服の清潔度 ○手足の外傷の有無 ネグレクトの可能性 身体的虐待の可能性
3	頭部の視診	○頭部の外傷性脱毛、傷等の有無 身体的虐待の可能性
4	歯垢付着状況の視診	○多量の歯垢付着 デンタルネグレクトの可能性
5	萌出状況の視診	○永久歯萌出の遅れ ネグレクトの可能性
6	う蝕・要観察歯(CO)の視診	○極端にう蝕が多い、重度のう蝕 ○要治療歯の放置（経年的） デンタルネグレクトの可能性
7	口腔軟組織の視診	○重度の歯肉炎 ○口唇、歯肉、小帯、舌、口腔粘膜、口蓋の損傷 デンタルネグレクトの可能性 身体的虐待の可能性
8	その他の異常の視診	○口腔機能の発達の遅れはないか ○子ども虐待の兆候がないか

ここまでで「おや、何かおかしいな」という項目があれば
次の診査項目へ進んで下さい

3. 口腔・顎顔面・頭頸部の診査 (P20, 21, 22 参照)

- 多量の歯垢沈着
- 多数歯にわたるう蝕
- 重度の歯肉炎
- 歯・歯周組織の損傷
 - ・歯の外傷 説明のつかない歯冠破折、歯根破折、変色歯、歯の動揺、歯の脱臼
 - ・口唇、歯肉、舌、口腔粘膜、小帯、口蓋の不自然な傷
- 顎顔面・頭頸部の損傷
 - ・眼 眼の周りのあざや出血点
 - ・耳 耳介部の損傷（不慮の事故による損傷は少ない）聞こえるかどうか
 - ・鼻 鼻骨骨折
 - ・首 点状出血、索状痕（首を絞められた跡）
 - ・頭部 頭皮内の複数の損傷や抜毛痕
 - ・不自然なあざ、皮下出血、変色斑、骨折



- 身体的虐待が疑われる部位
- 日常生活で損傷しやすい部位

4. 全身の診査 (P23 参照)

- あざ
- 打撲傷
- 火傷（たばこ、アイロン、熱湯）
- 骨折

5. 子どもの様子 (P15 参照)

- 身長・体重がある時期から増加していない・横ばい
- 身体や衣服が清潔でない
- 無表情、笑わない、あまりしゃべらない、あいざつができない
- 親の顔色をうかがう、ビクビクしている、おびえがある
- 親になつかない
- 生活のリズムが不規則
- 食行動の異常（むさぼり食い、過食、拒食）
- 朝食を食べない時がある
- 食事や間食の時間が決まっていない、おやつに甘いものが多い
- 多動、落ち着きがない
- 急激な学力の低下
- 歯磨きをしない時がある
- 家に帰りたがらない
- 適度な運動をしていない
- 不登校、遅刻、忘れものが多い
- 服装の乱れ
- 乱暴な言動、行動
- 元気がない
- 健診時に歯を磨いて来ない
- 常識、社会性の顕著な欠如

6. 保護者の様子 (P14 参照)

- 保護者の既往歴（酒・薬物依存、心療内科の受診、うつ病等）
- 子どもへの接し方が不自然
- 子どもに対して拒否的
- 育児に対する不安がある
- しつけに厳しい、ひどくしがる
- 子どもにきちんとした食事を与えていない
- 経済的に余裕がない
- 子どもの事故に対する配慮がない
- 周囲に子育てを支援してくれる人がいない
- 子どもをかわいくないと平気でいう
- 保険証がない
- 医療機関を点々としている
- 子どもを異様に叱る、脅す、たたく
- 待合室でトラブルをおこす
- 病院・スタッフへの不満が多い
- 発症や受傷状況が説明できない
- 説明が二転三転する
- 受診までの時間経過が長い
- 子どもの病状、診断、説明に関心がない
- 再診を望まない
- キャンセルが多い
- 未払いが多い
- 親と子の衣服のアンバランス

★気になる点があれば学校歯科健診では学校側へ伝えて下さい

★診療所の場合は市区町村の子育て支援課等に連絡しましょう

参考文献

- ・改訂「愛知県母子健康診査マニュアル」 (第9版)
- ・医療機関のための子育て支援ハンドブック ～気になる親子に出会ったら～ (東京都 2006)
- ・チームで行う児童虐待対応 ～病院のためのスタートアップマニュアル～ (東京都 2009)
- ・子どもたちの笑顔 みんなの宝
～子育て支援デンタルネグレクトからの気付き～ (広島県歯科医師会 2008)
- ・新・子どもの虐待 ～生きる力が侵されるとき～ 森田ゆり (2004 岩波書店)
- ・愛知県 医療機関用 子どもの虐待対応マニュアル改訂版 (2006年度)
- ・奥山眞紀子 子ども虐待 東京都歯科医師会雑誌 (第51巻第12号2003年12月)
- ・子ども虐待対応の手引き
厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室 (平成21年3月31日改正版)
- ・歯科医療機関用 児童虐待対応マニュアル (愛知県歯科医師会 平成15年4月)
- ・虐待フォローネットワークの事例報告 法歯科医学会 第5回学術大会講演要旨集
- ・子ども虐待の臨床 医学的診断と対応 編著 坂井聖二他 (南山堂)
- ・臨床法医学テキスト 編著 佐藤善宣 (中外医学社)
- ・法医学と歯科医師のコラボレーションについて 長尾正崇
第3回学術大会教育講演1 (日本法歯科医学会誌 第3巻・第1号)
- ・児童虐待死亡ゼロをめざした支援のあり方について
～東京都児童福祉審議会児童虐待死亡事例等検証部会報告書～
(編集・発行 東京都福祉保健局少子社会対策部計画課 平成21年4月発行)
- ・子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について (平成22年7月)
社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会 第6次報告
- ・児童虐待の援助法に関する文献研究
～戦後日本社会の「子どもの危機的状況」という視点からの心理社会的分析～
- ・児童虐待に関する文献(2000～2007年)の紹介
(発行 編集 子どもの虹情報研修センター 平成21年3月31日)
- ・児童虐待への対応の実態と防止に関する研究
企画・編集 財団法人 社会安全研究財団内「児童虐待防止研究会」
(発行 財団法人 社会安全研究財団 平成18年3月発行)

写真提供

- ・長尾 正崇 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)
- ・福田 理 (愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 教授)
- ・山田 良広 (神奈川歯科大学社会医学系社会歯科学講座法医学分野 教授)
- ・都築 民幸 (日本歯科大学生命歯学部歯科法医学 教授)

関連ホームページ

- ・子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA) <http://www.capna.jp/index.html>
- ・子どもの虐待防止センター <http://www.ccap.or.jp/>
- ・愛知県児童相談センター、児童・障害者 <http://www.pref.aichi.jp/owari-fukushi/jiso/>
- ・愛知県児童相談センター子ども相談 http://www.pref.aichi.jp.jiso.index_jiso.html
- ・あいち小児保健医療総合センター <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>
- ・社団法人チャイルド・セーフティネット協会 <http://www.child-safetynet.jp/>
- ・日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) <http://www.jaspcan.org/>
- ・子ども虐待防止 オレンジリボン運動
<http://www.orangeribbon.jp/about/child/abuse.php>
- ・子どもの虹情報研修センター <http://www.crc-japan.net/index.php>
- ・SBI (Children's Hope Foundation) 子ども希望財団 <http://www.sbigroup.co.jp/zaidan>
- ・米國小児歯科学会 <http://www.aapd.org>

子どもの虐待対応マニュアル

編集委員（児童虐待防止対応マニュアル専門委員）

池山 豊子（愛知県歯科衛生士会 会長）
大野香代子（尾張福祉相談センター センター長）
岡本 弥生（市町村保健師協議会 小牧市保健センター 主査）
清水 信行（愛知州市長会 安城市社会福祉課長）
濑澤 元美（豊橋市保健所こども保健課 技師）
城 義政（愛知県医師会 理事）
坪井 信二（愛知県健康福祉部健康対策課 主任専門員）
戸澤まゆみ（愛知県教育委員会健康学習課 指導主事）
中垣 晴男（愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 教授）
長尾 正崇（広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
原田 和久（愛知県町村会 設楽町町民課長）
平井みどり（新城保健所健康支援課 主任主査）
廣浦 定子（西尾保健所健康支援課 課長）
福田 理（愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 教授）
渡辺 浩志（愛知県健康福祉部児童家庭課 課長補佐）
*外部有識者委員（50音順）

事務局

愛知県歯科医師会
会 長 渡辺 正臣
専務理事 須賀 均
愛知県警察歯科医会
専務理事 杉浦 隆彦
理 事 西村 助吉
理 事 江坂 匡史
理 事 大野 勝弘
理 事 岩田 幸久

発行者 愛 知 県
発行日 平成 24 年 3 月
編 集 愛知県児童虐待防止対応マニュアル専門会議
事 務 局 愛知県歯科医師会
住 所 名古屋市中区丸の内 2 丁目 4-7
愛知県産業貿易館西館 9F
電 話 052-962-8020